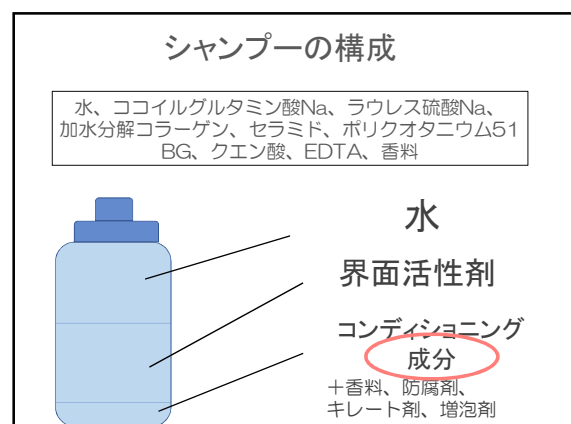
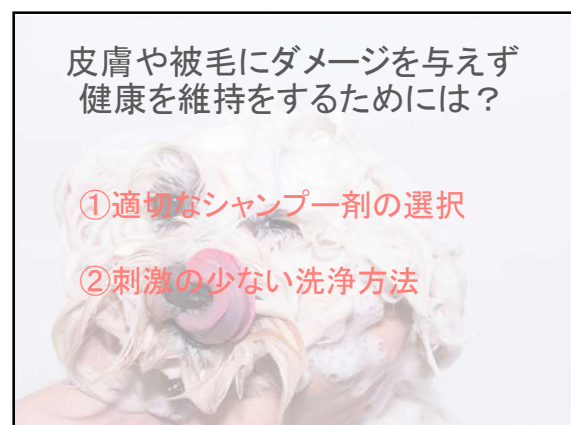
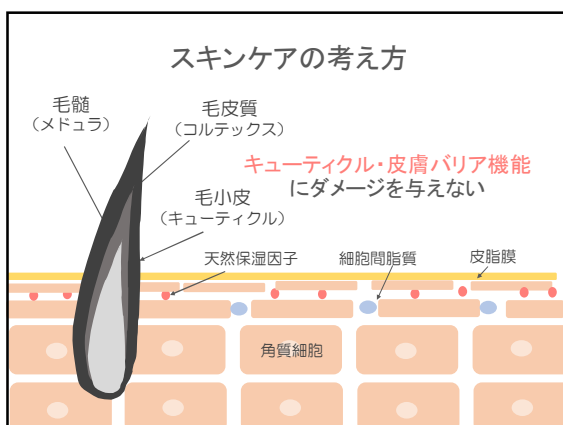
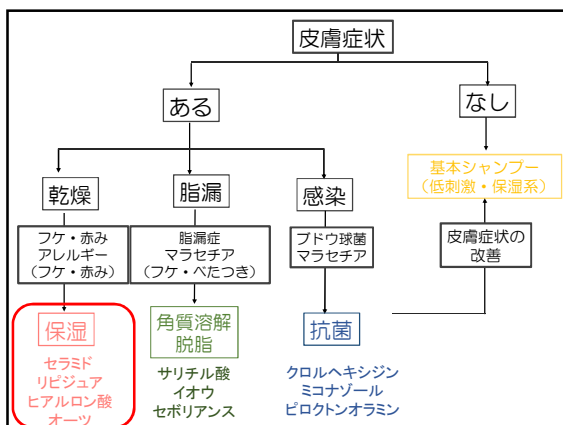
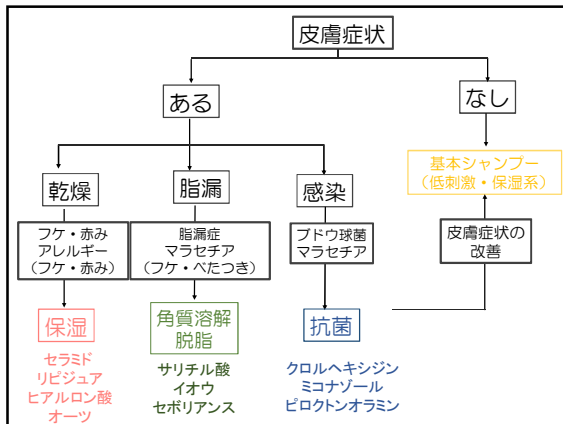






犬アトピー性皮膚炎のガイドライン2015

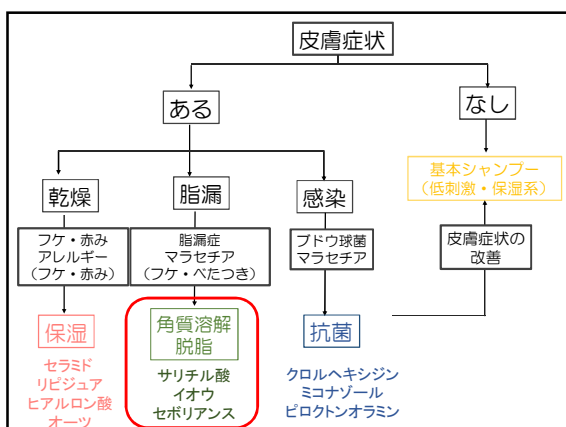
ICADA

①刺激性の少ない洗浄剤

②症状に合わせて洗浄剤を選択
保湿成分、抗脂漏、抗菌など

International Committee on Allergic Diseases of Animals (ICADA).





角質溶解・脱脂

フケが多い、脂っぽい
脂漏症、マラセチア性皮膚炎

ケラトラックス

サリチル酸

デュクソS3セボ

セボリアンス

過剰な皮脂は シャンプー剤の効果の減弱

スーパー
クレンジング

シャンプー系クレンジング

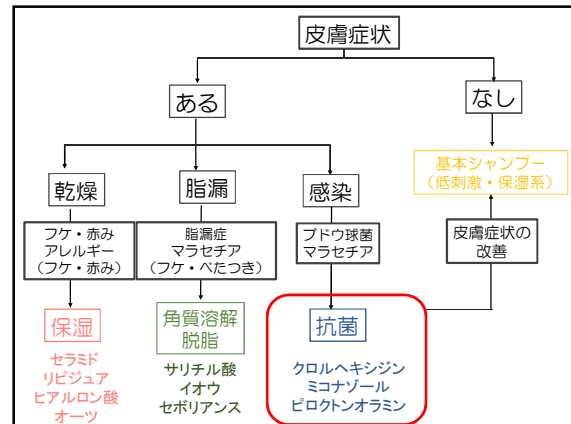
アフロートVET
クレンジングオイル

オイル系クレンジング

ナノベijing
フロ

希釈系クレンジング





Veterinary Dermatology

Efficacy of a surgical scrub including 2% chlorhexidine acetate for canine superficial pyoderma

2%酢酸クロルヘキシジン
耐性ブドウ球菌による膿皮症の犬8頭
2日毎 2週間

→改善	5頭
部分的改善	1頭
改善せず	2頭

ノルバサンサージカル
スクラブ

Murayama et, al. Vet Dermatol, 2010

抗菌系シャンプー

膿皮症、マラセチア皮膚炎

ノルバサンサージ スクラブ	マラセブ	マラセキュア	メディダーム
2%クロルヘキシジン	2%クロルヘキシジン 2%ミコナゾール		ピロクトンオラミン



Comparison of two shampoos for treatment of *Malassezia pachydermatis*-associated seborrheic dermatitis in basset hounds

R. Bond, J. F. Rose, J. W. Ellis, D. H. Lloyd

マラセチアに関連した
脂漏症のバセットハウンド33頭

3日に1回の洗浄 3週間

→臨床症状の改善



2%クロルヘキシジン
+ 2%ミコナゾール

Bond et, al. Small Anim Pract, 1995

薬用シャンプーの
つけおき時間は？

- ①抗菌効果はつけおき時間が
長い方が**効果はあるはず**
- ②一方、シャンプーに触れる時間が
長いと皮膚・被毛へのダメージ↑↑
- ③皮膚・被毛へのダメージの懸念
犬が嫌がる場合、
飼い主が耐えられない場合は**配慮が必要**



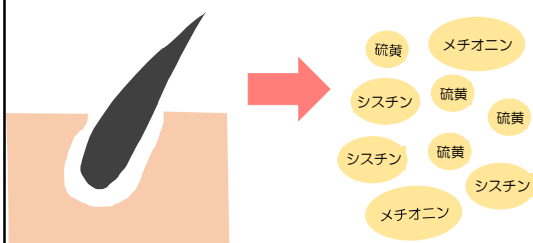
皮膚症状に合わせた
シャンプー剤の選択が重要



②刺激の少ない洗浄方法



皮膚や被毛は**アミノ酸の集合体**
(タンパク質)



水、PH、熱に影響される



お肉も
アミノ酸の集合体
＝タンパク質

水

どちらが洗浄に適している??



軟水の使用

痒みのある犬 11頭

- 軟水 vs 水道水
- 1週間に1回 シャンプー

皮膚のバリア機能を回復させる可能性

☛ 軟水使用群では症状の改善を認めた

- 臨床スコア
- 痒みスコア
- TEWL

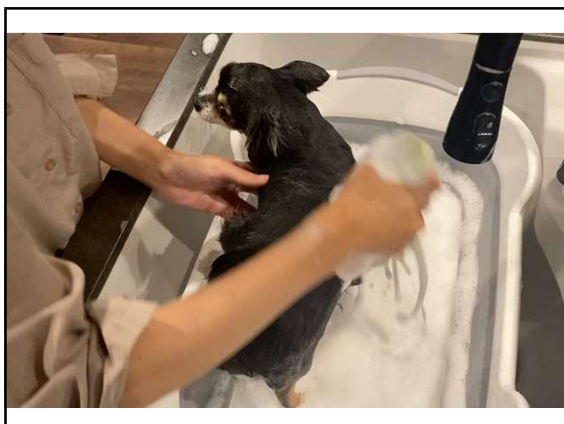
水道水使用群では改善なし

Ohmori et, al. Vet Dermatol, 2010

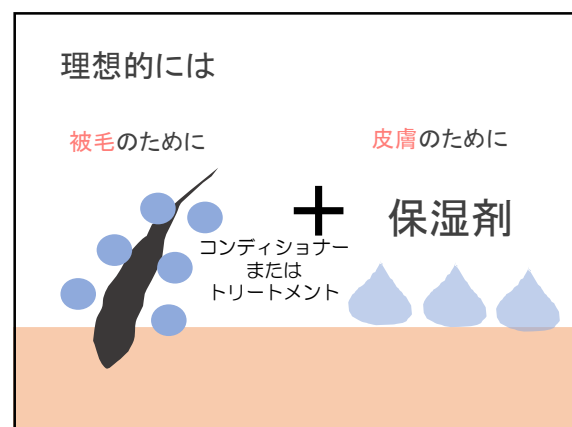
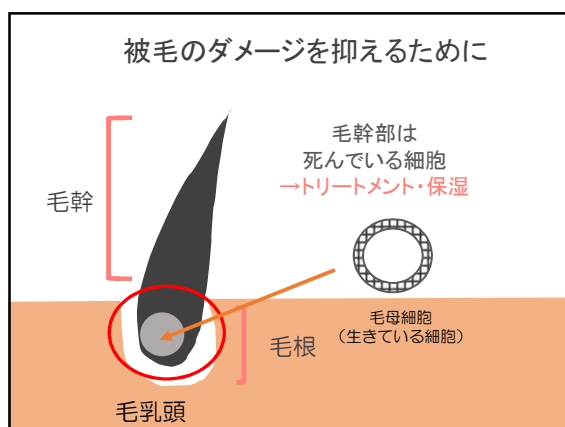
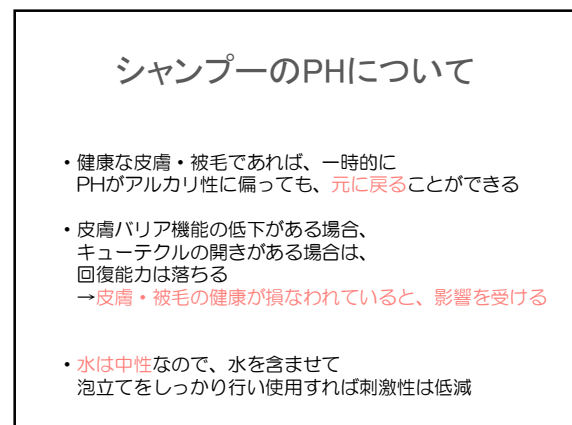
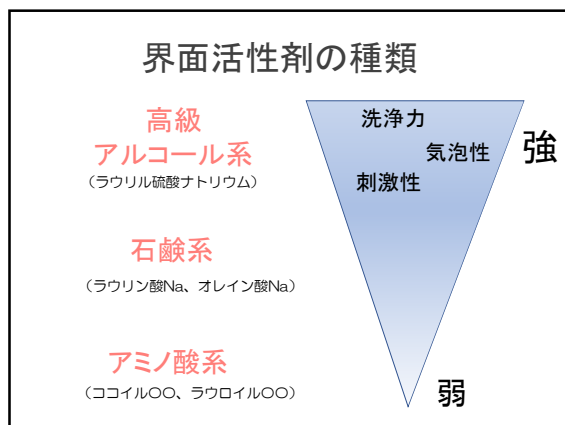
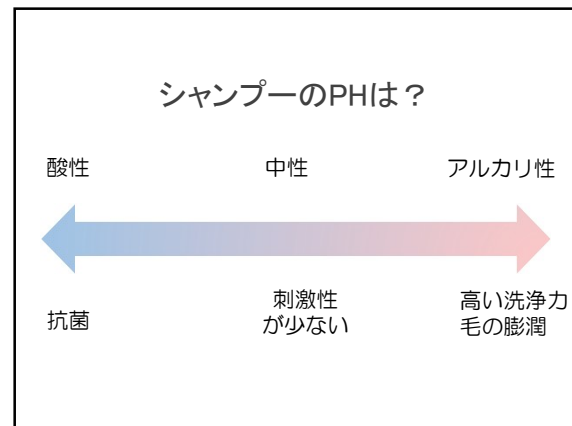
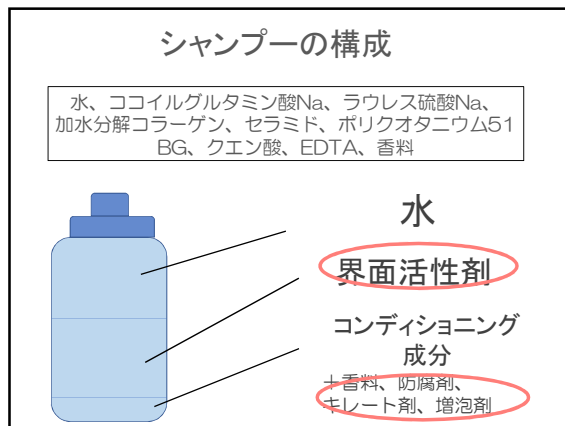
シャンプー時のポイント

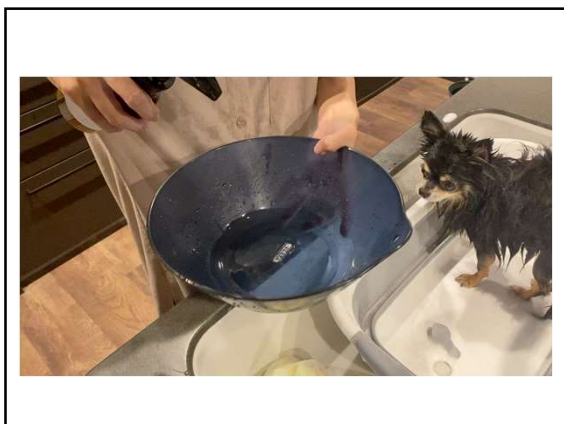
泡で洗う

きめ細かい泡は
皮膚への刺激性が少ない
洗浄能力が高い

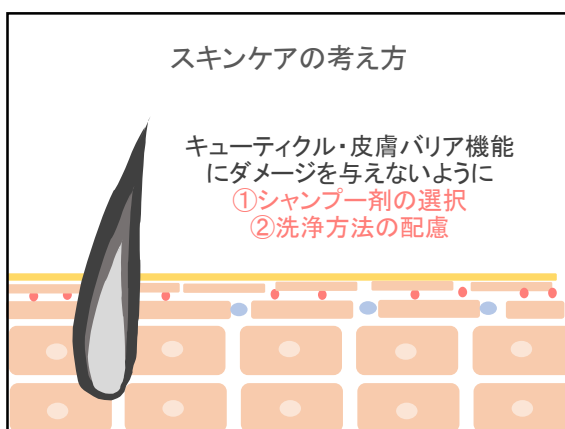


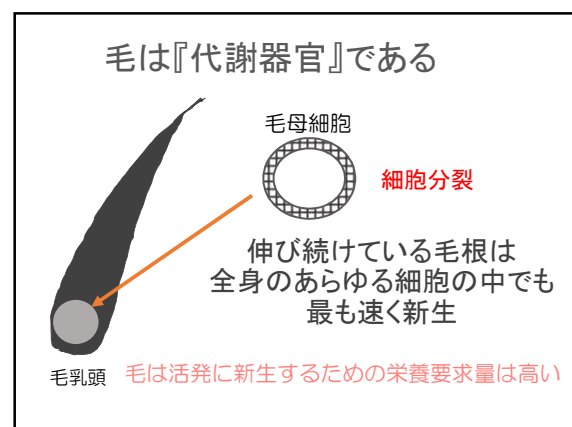
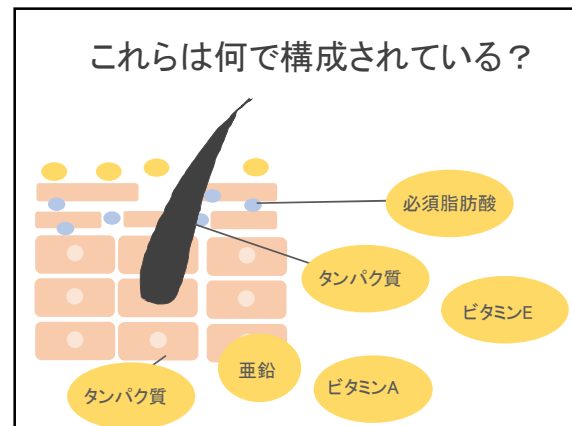
PH





熱





皮膚の栄養が不足する要因は！？

ライフステージ

- ・成長期・授乳期
→栄養素の消化率が低い
タンパク質不足になりやすい
- ・高齢
→栄養吸収が不十分になる
- ・換毛期
→栄養要求量が高くなる



皮膚・被毛の栄養が不足する要因は！？

食事内容

- ・低タンパク食
→タンパク質量の不足
- ・低脂肪食・低品質
→必須脂肪酸の欠乏
- ・カルシウムの過剰給与
フィチンを多く含む食事の摂取
→亜鉛の栄養素の吸収が阻害
- ・手作り食
→ミネラル不足など




Case



フレンチ・ブルドッグ
6歳 去勢雄
体重7.5kg BCS: 3/9

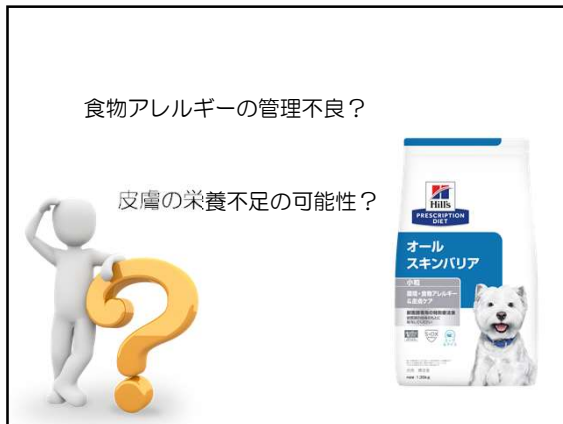
■診断
アトピー性皮膚炎
+食物アレルギー

■投薬
オクラシニブ0.6mg/kg SID

■食事
加水分解食

■スキンケア
保湿系シャンプー週に1回
保湿剤の塗布1日1回





犬のアレルギーに関連した掻痒性疾患に対して

掻痒・脱毛の改善
オメガ脂肪酸の投与

9/16



Double-blinded Crossover Study with Marine Oil supplementation Containing high-dose
eicosapentaenoic Acid for the Treatment of Canine Pruritic Skin Disease

健康な皮膚・被毛を保つには
2つのアプローチ

外側からのスキンケア
(皮膚・被毛の衛生管理＋保湿)

内側からのスキンケア
(皮膚・被毛に必要な栄養素)